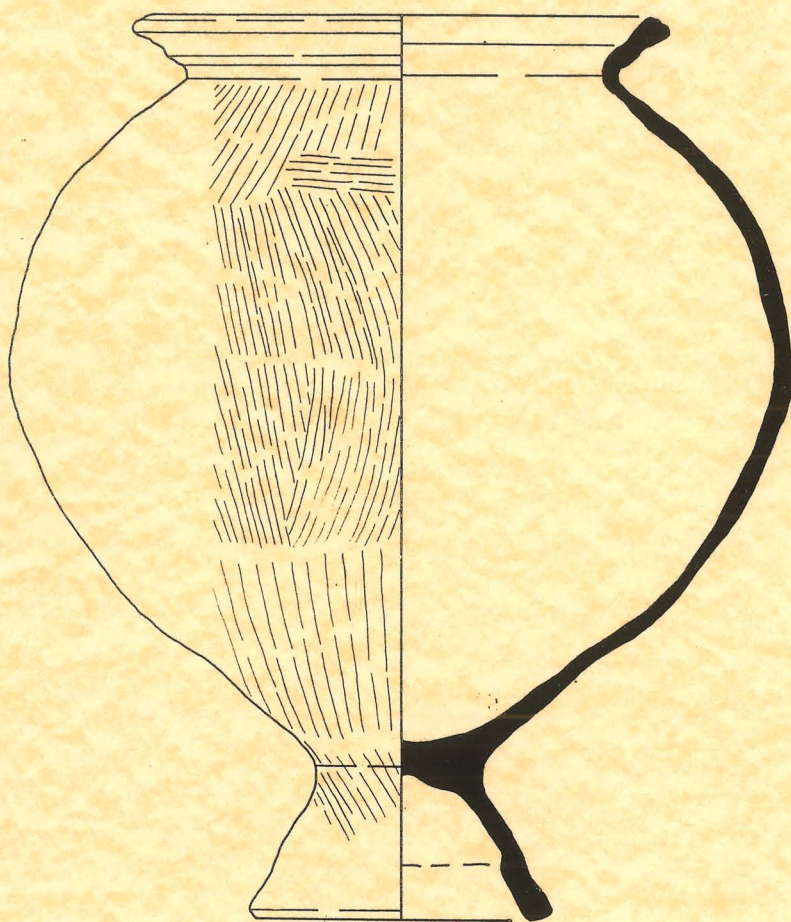


南柳遺跡の調査

—建設残土仮置場仮設排水路設置に伴う確認調査—



1994年11月

太子町教育委員会

例言

1. 本書は、兵庫県揖保郡太子町佐用岡字南柳42番地における建設残土仮置場仮設排水路設置に伴い発見された南柳遺跡の確認調査概要である。
2. 調査は、平成5年10月14日～15日、同16日～22日にかけて実施したものである。
3. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課三村修次、海野浩幸が担当した。
4. 調査、整理作業にあたっては、太子町シルバー人材センター、喜多村測量株式会社、蔵屋信一、小山真紀、中村豊子、伊藤慶子、岩村千穂各氏の協力を得た。
5. 本書の執筆、編集は、三村修次、海野浩幸が担当した。

表紙 豎穴住居跡下層出土の台付甕実測図 (1/2)

裏表紙 豎穴住居跡下層出土の小型高坏実測図 (1/2)

本文目次

例言

調査に至る経過	2
調査の概要	2
まとめ	25

挿図目次

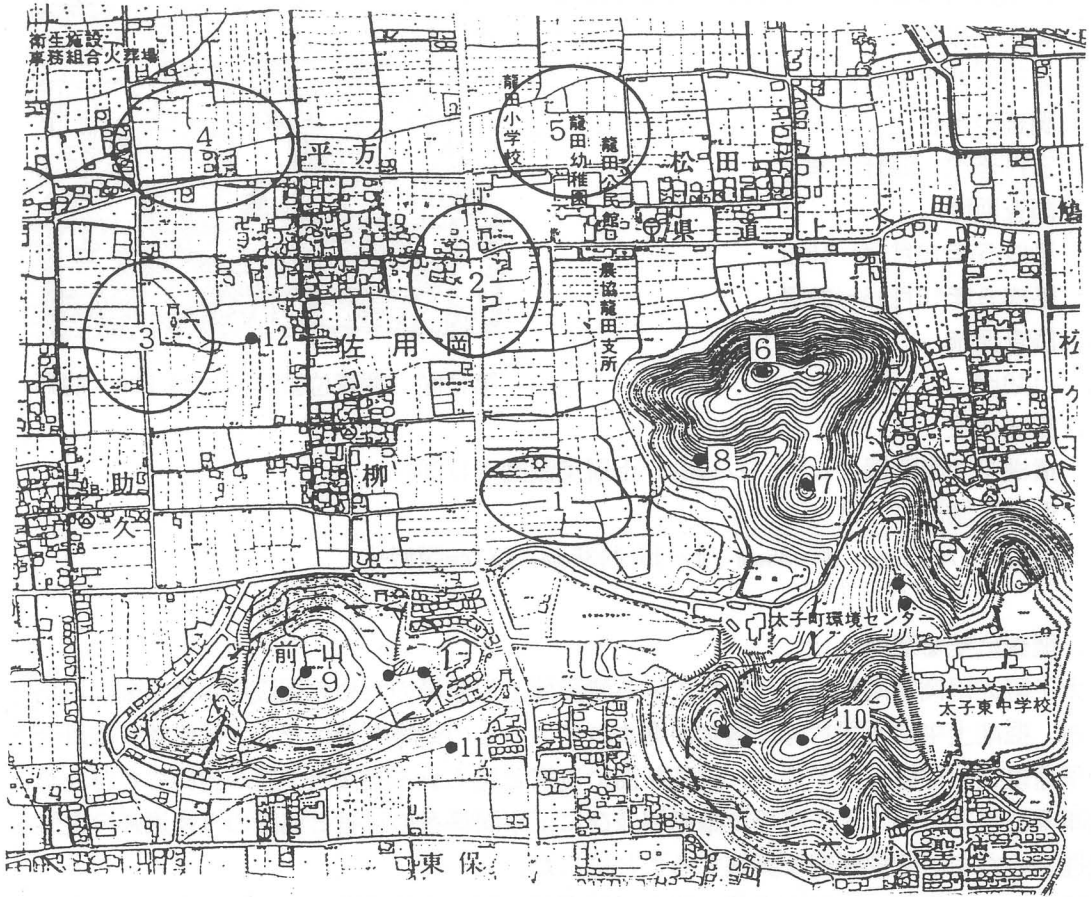
第1図 周辺遺跡分布図	1	第10図 住居跡下層遺物実測図(3)	10
第2図 調査位置図	2	第11図 住居跡下層遺物実測図(4)	11
第3図 トレンチ設定図	2	第12図 住居跡下層遺物実測図(5)	12
第4図 竪穴住居跡実測図	3	第13図 住居跡下層遺物実測図(6)	13
第5図 トレンチ5土層断面図	4	第14図 住居跡上層遺物実測図(1)	14
第6図 トレンチ1～4全体図	5・6	第15図 住居跡上層遺物実測図(2)	15
第7図 各トレンチ遺物実測図	7	第16図 住居跡上層遺物実測図(3)	16
第8図 住居跡下層遺物実測図(1)	8	第17図 住居跡上層遺物実測図(4)	17
第9図 住居跡下層遺物実測図(2)	9	第18図 住居跡上層遺物実測図(5)	18

表目次

表1 遺物観察表	19～24
----------	-------

図版目次

図版1	上 調査地遠望	(西から)
	下 遺跡発見状況	(西から)
図版2	上 トレンチ1 竪穴住居跡	(西南から)
	下 トレンチ1 竪穴住居跡	(東から)
図版3	上 竪穴住居跡床面南東部土器出土状況	(西から)
	下 竪穴住居跡床面南中央部土器出土状況	(北から)
図版4	上 トレンチ2	(北から)
	下 トレンチ3	(北から)
図版5	上 トレンチ4	(北から)
	下 トレンチ5	(南から)
図版6	上 地元龍田小学校生への現地説明会風景	
	下 調査地区航空写真	



第1図 周辺遺跡分布図 (1/10,000)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 南柳遺跡 | 7 坊主山古墳 |
| 2 平方遺跡 | 8 柳山古墳 |
| 3 平方宮ノ本遺跡 | 9 東保山古墳群 |
| 4 平方老丁田遺跡 | 10 丹生山古墳群 |
| 5 平方高田遺跡 | 11 キツネ岩遺跡 |
| 6 松田山古墳 | 12 鶴荘平方勝示石 |

南柳遺跡の調査

1. 所在地

兵庫県揖保郡太子町佐用岡字南柳42番地

2. 調査主体者

太子町教育委員会

3. 調査担当者

三村修次、海野浩幸

4. 調査期間

平成5年10月14～15日

平成5年10月16～22日

5. 調査面積

140m²

6. 記録作成

遺構平面実測図 (1/20、1/100) 土層実測図 (1/20)

遺物実測図 (1/1)

写真 (モノクロ35mm カラー35mm カラーリバーサル35mm 6X7cm版カラー)

7. 調査に至る経過

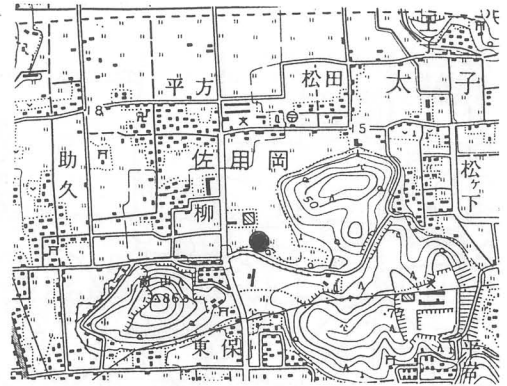
太子町佐用岡字南柳に設けられている建設残土仮置場のための仮設排水路を掘削したところ、掘削土中に土器片等の遺物が含まれているとの通報を受けた。太子町教育委員会では早速現地を確認したところ、掘削断面に遺構と見られる暗褐色土層が認められたため、兵庫県教育委員会、太子町都市整備課並びに工事関係者の三者と協議のうえ遺跡の実態を把握するための確認調査を実施することにした。

調査地は太子町のほぼ中央部、前山（標高86.77m）の北東裾部で、西光寺山（標高67.80m）との谷の入口に位置し、標高14.20mを測る。周辺には北方約400mに平方遺跡、西光寺山には古墳時代前期の松田山古墳、前山と東に続く丹生山には古墳時代後期の東保古墳群と丹生山古墳群がそれぞれ所在している。

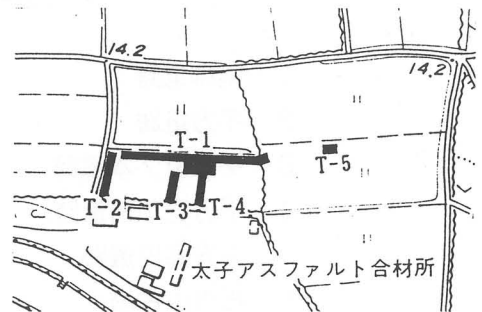
8. 調査の概要

調査はまず、排水路掘削部分を対象に土層断面及び平面の清掃を行ない、遺構の観察を実施した。

その結果、竪穴式住居跡と若干の柱穴が確認されたため排水路掘削部分をトレンチ1として竪穴式住居跡部分を拡張するとともに、新たにトレンチ4箇所（2～5）を設定し、調査を実施することにした。なお、遺構は住居跡のみ完掘し、他の遺構については平面確認のみにとどめた。以下各トレンチの概略を述べる。



第2図 調査位置図 (1/25,000 龍野)



第3図 トレンチ設定図

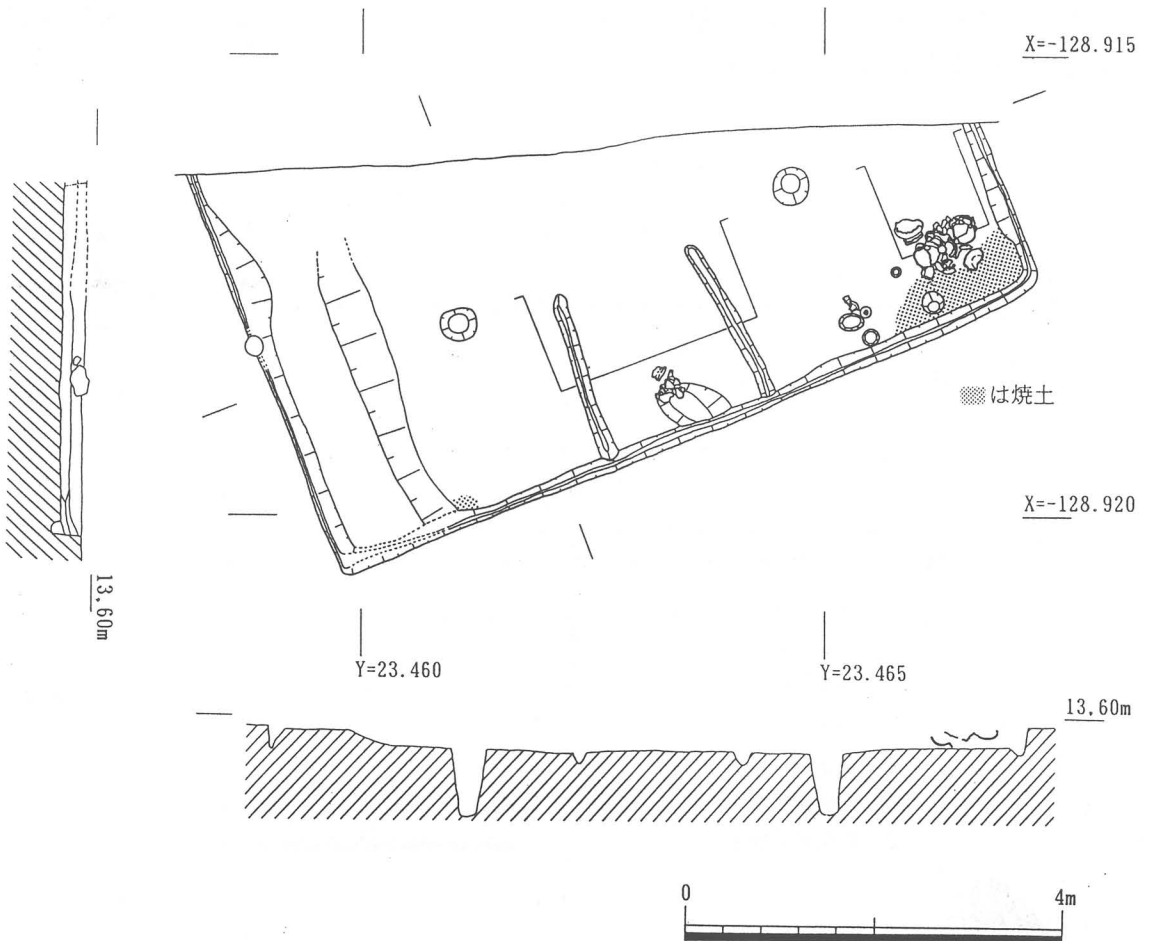
トレンチ 1

耕土、客土、灰色土で黄色土地山となる。遺構は、方形竪穴式住居跡 1 棟と若干の柱穴を検出した。

竪穴住居跡

西面にベッド状遺構を有する一辺 8 m の方形住居跡で、約 1/2 程を検出することができた。検出面から床面まで 20~24cm を測る。外周には、幅 8~12cm、深さ 6~10cm の周壁溝が巡る。柱穴は 2 本分が検出され、深さ 70cm、柱間は 3.4m を測る。おそらく 4 本柱になるものと考えられる。また、南辺に幅 14~20cm、深さ 7~12cm の溝が 1.4~1.7m の間隔で認められ、南面した入口を想定することができる。床面の東南隅と西南部で焼土が認められたが炉跡は検出されなかった。遺物は、埋土下層及び床面から土師器の甕・壺・高坏・小型壺が、埋土上層からは土師器の甕・壺・高坏・小型壺、須恵器の蓋坏・高坏・甕が出土している。埋土下層及び床面からの須恵器の出土は見られなかった。

この住居跡は床面等からの遺物から古墳時代中期前半のものと考えられる。ただ上層遺物との時期差が大きすぎるため土坑の重複があるものと考えられるが、平面及びセクションでの観察でも確認することは出来なかった。



第 4 図 住居跡実測図

トレンチ2

耕土、客土で黄色土地山となる。地山面は北側へわずかに傾斜している。遺構は、溝2条、若干の柱穴と土坑を検出した。遺物は、須恵器の蓋坏・高坏・甕・碗、土師器の細片瓦質土器の壺が出土している。

トレンチ3

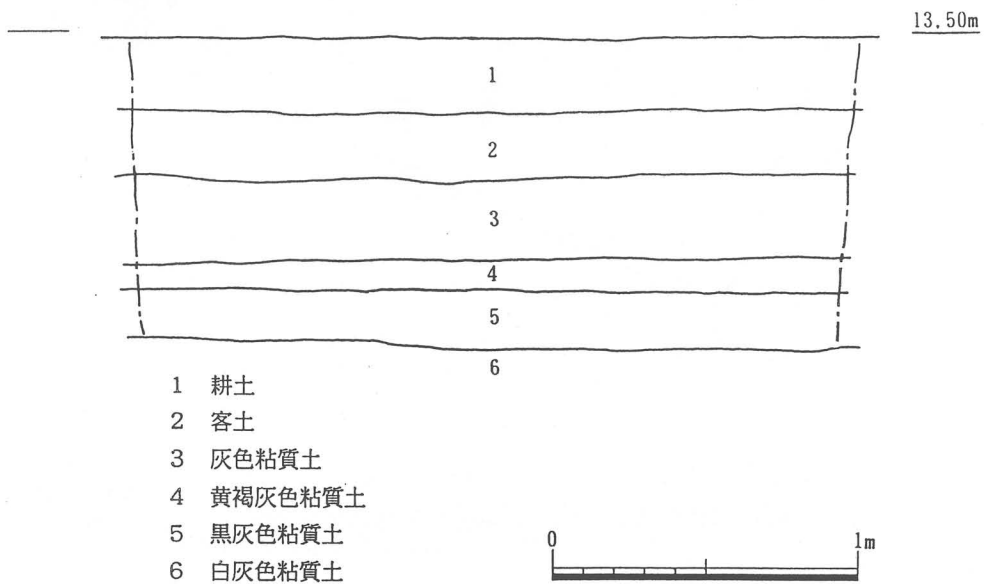
耕土直下で黄色土地山となる。遺構は、柱穴3箇所を検出した。遺物は須恵器の蓋坏・高坏・甕、土師器の坏・甕、白磁碗が出土している。

トレンチ4

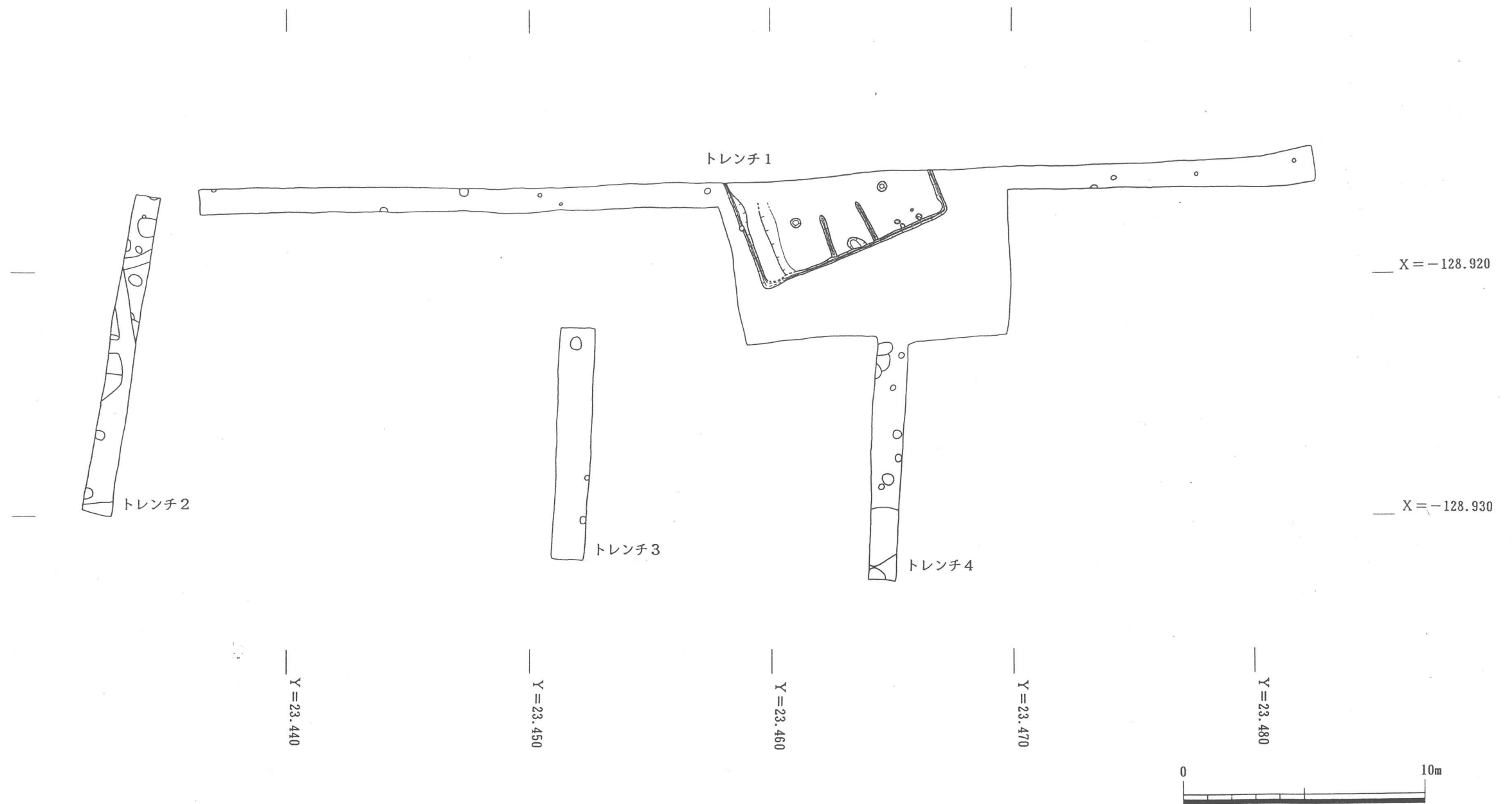
耕土、客土で黄色土地山となる。遺構は、土坑4箇所、柱穴6箇所を検出した。遺物は須恵器の蓋坏・甕、土師器の土塼が出土している。

トレンチ5

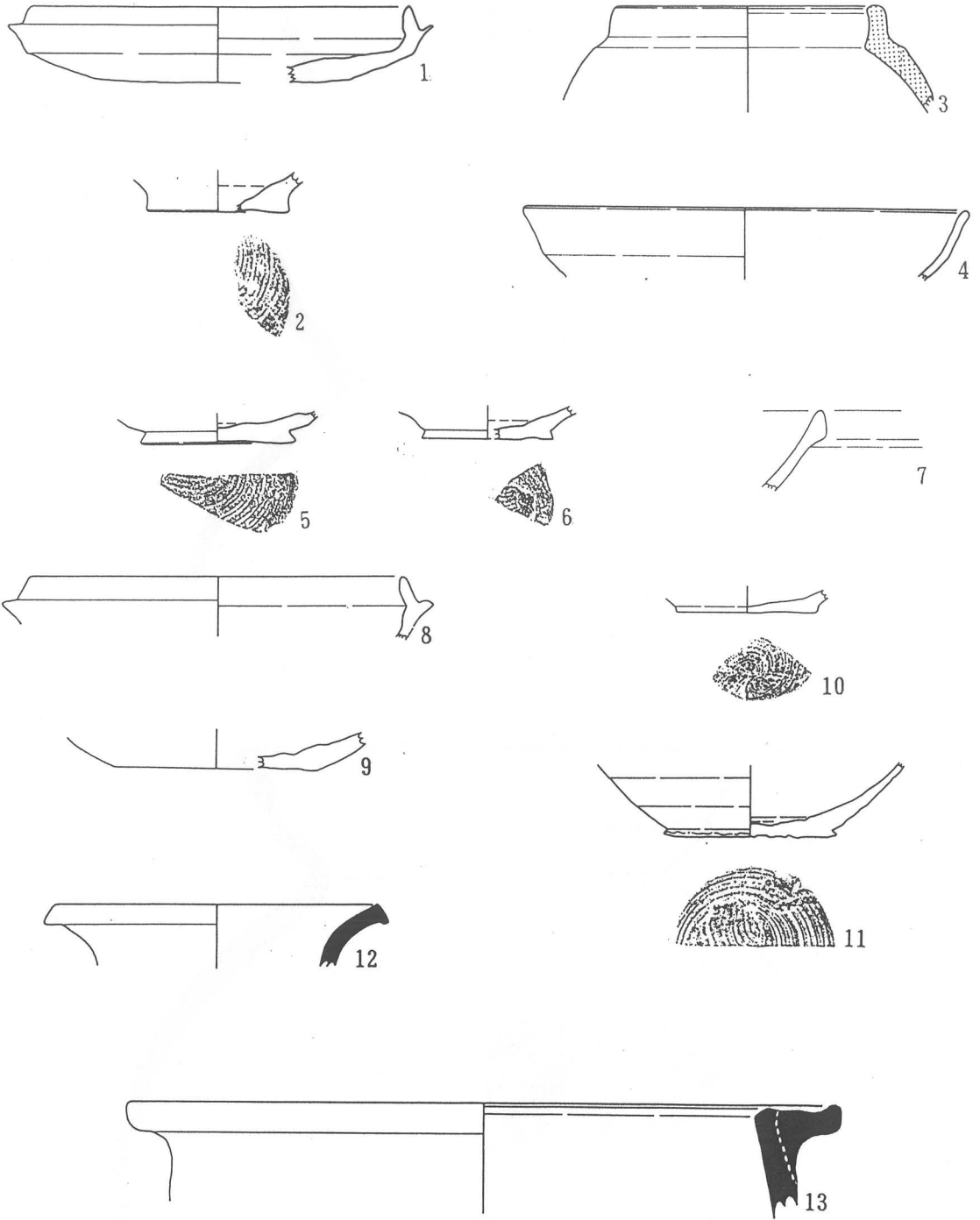
耕土、客土、灰色粘質土、黄褐灰色粘質土、黒灰色粘質土、白灰色粘質土の順に堆積しており、湿地状を呈している。遺物は、須恵器と土師器の細片が灰色粘質土から黒灰色粘質土にかけて少量出土している。



第5図 トレンチ5土層断面図



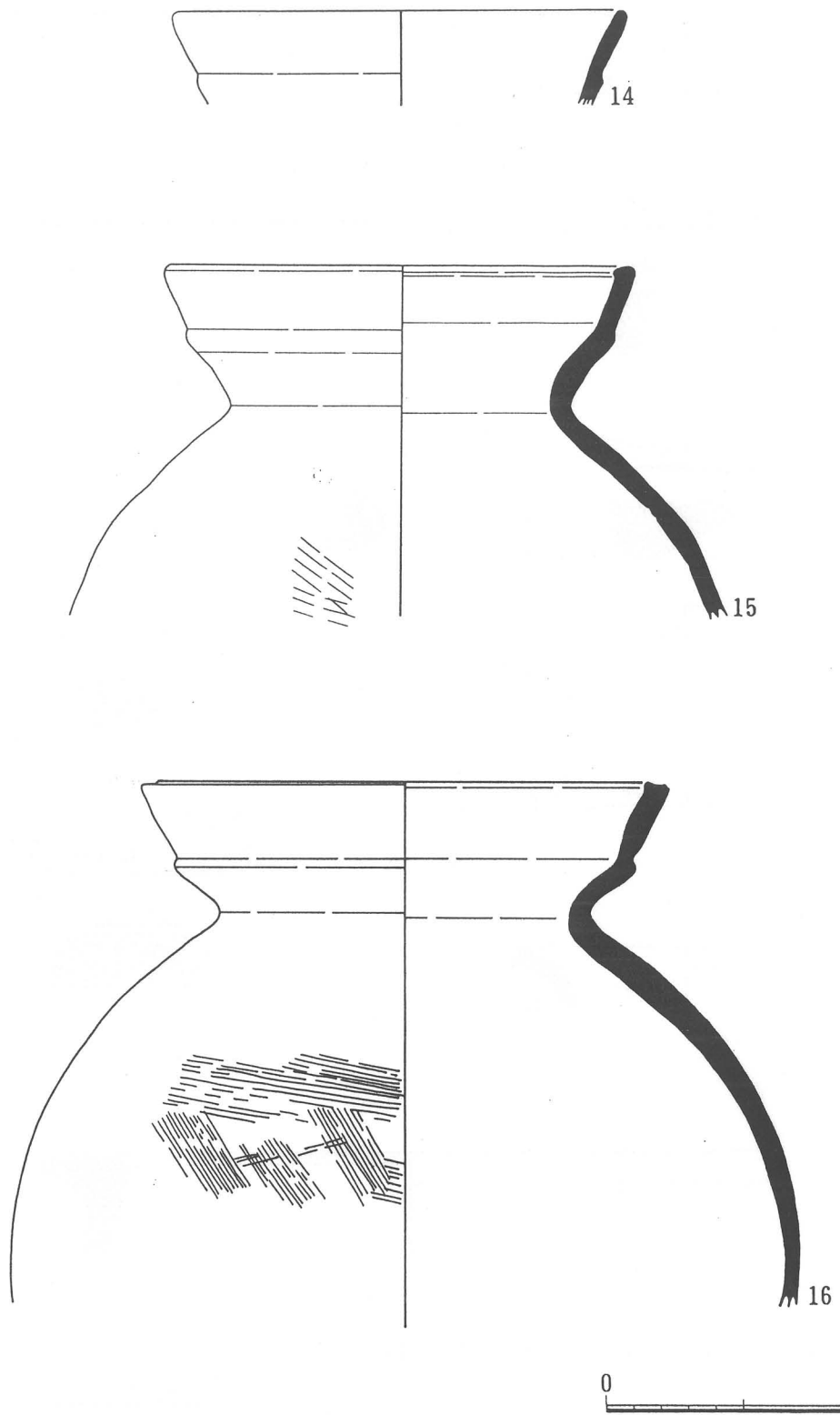
第6図 トレンチ1~4全体図



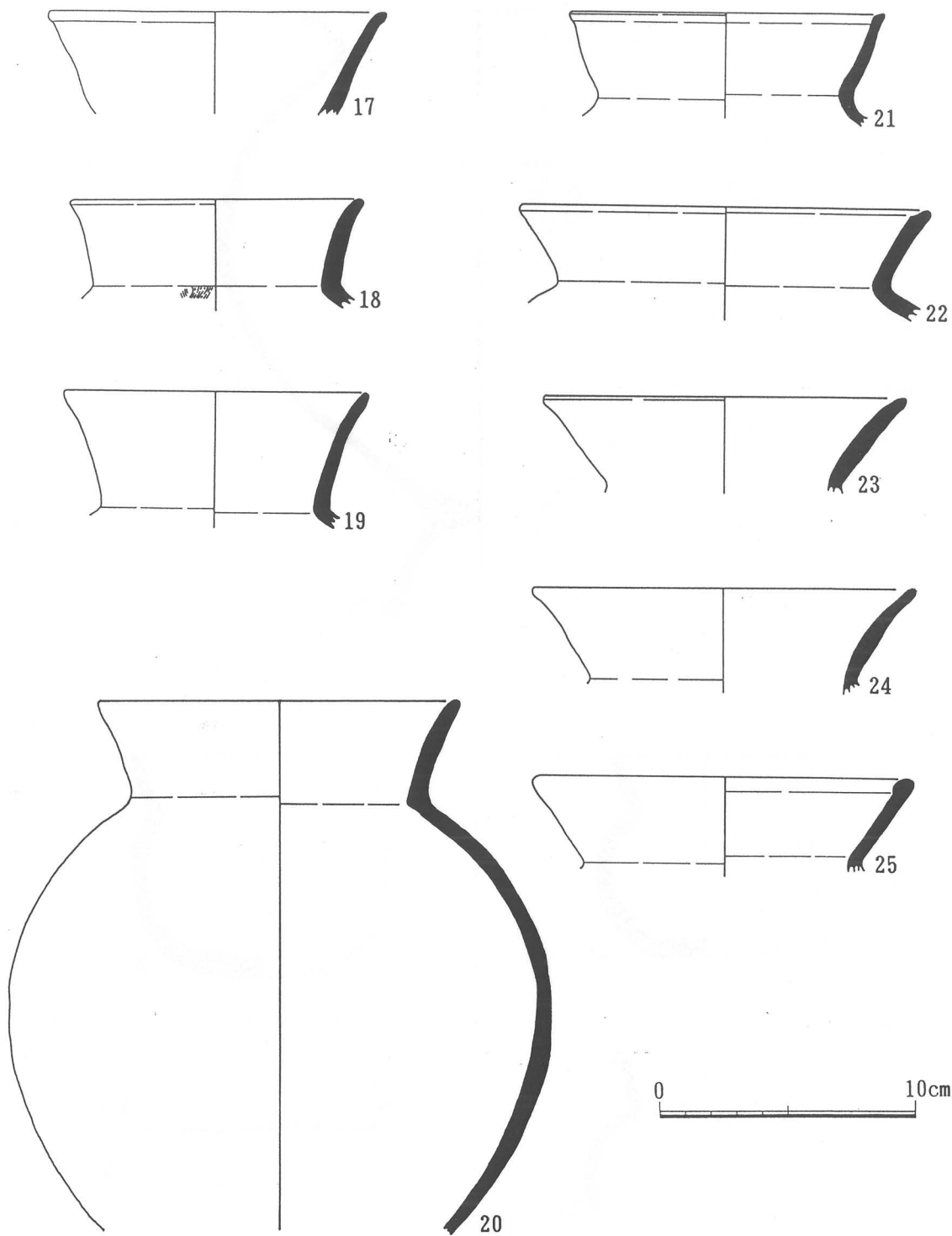
1~3 (T-2) 4~7 (T-3) 8~13 (T-4)

0 10cm

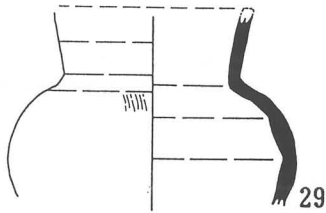
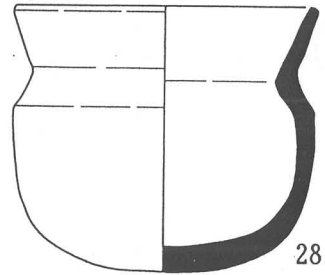
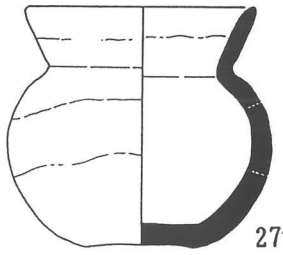
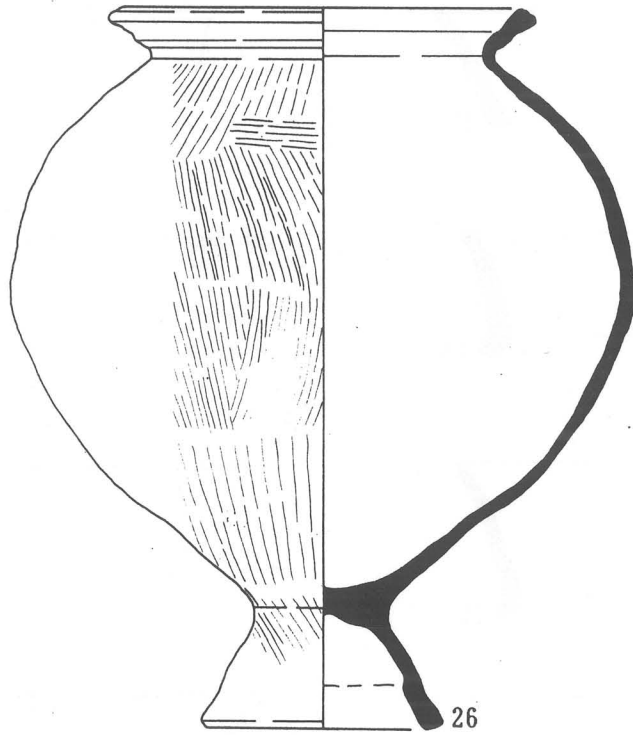
第7図 各トレンチ遺物実測図



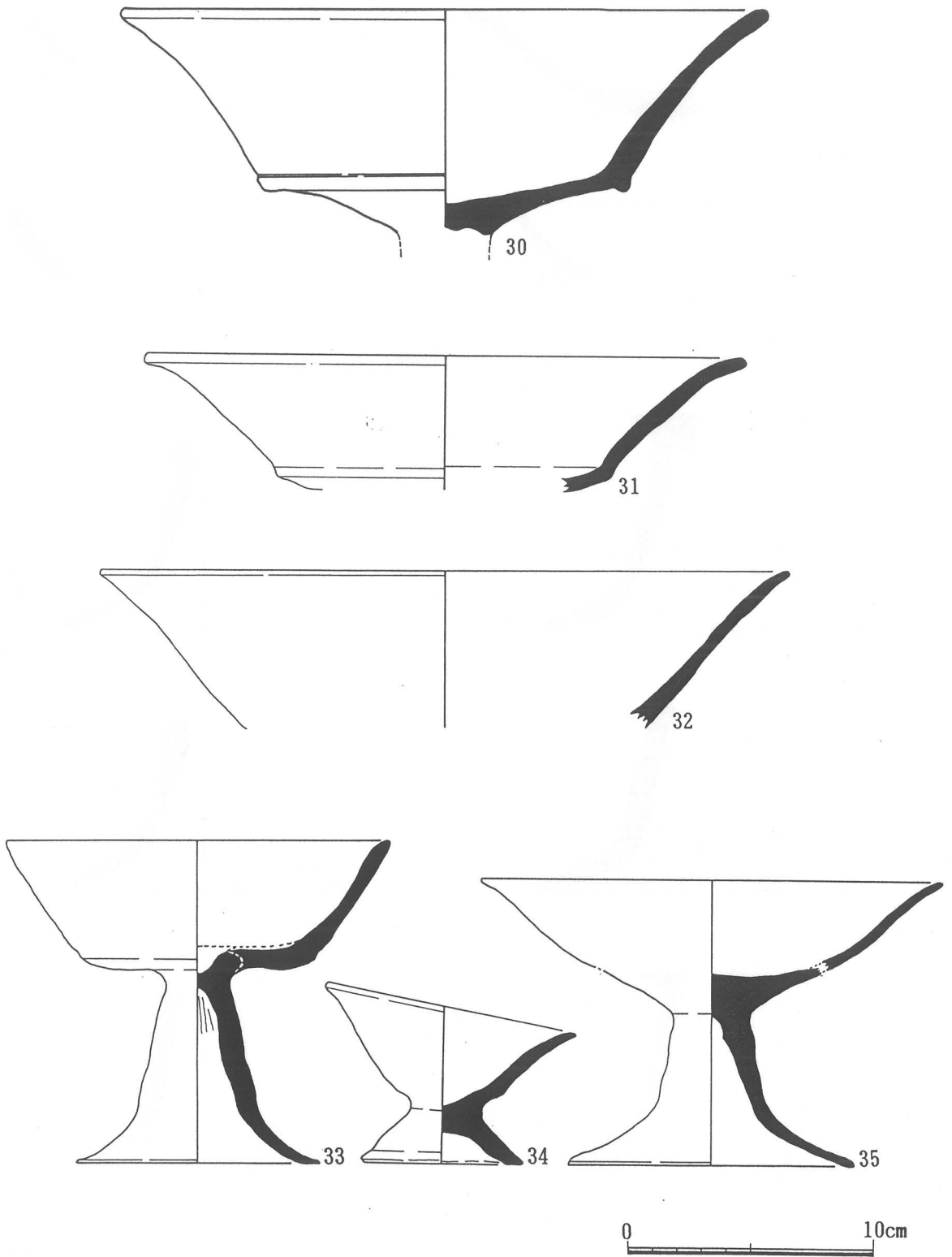
第8図 住居跡下層遺物実測図(1)



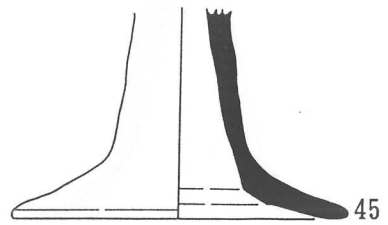
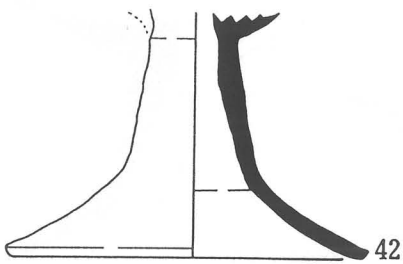
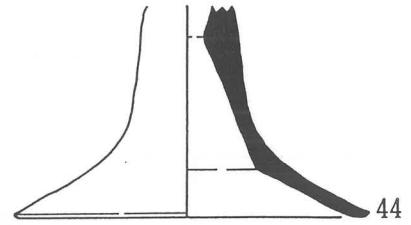
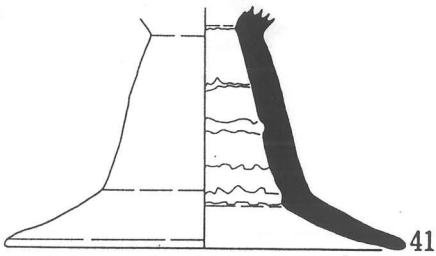
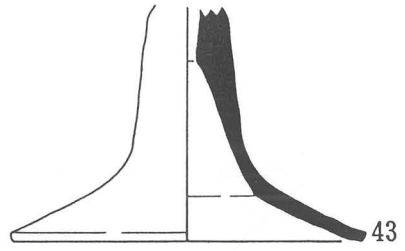
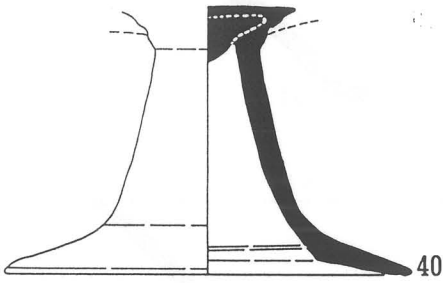
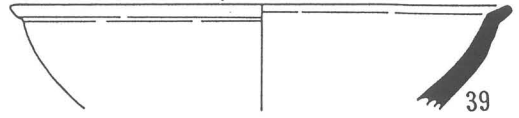
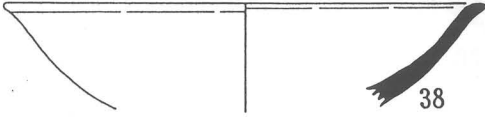
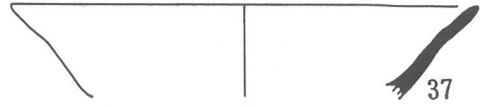
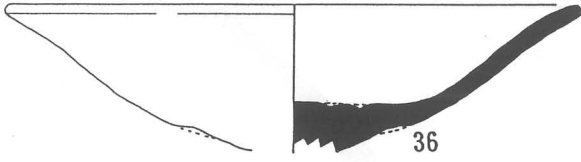
第9図 住居跡下層遺物実測図(2)



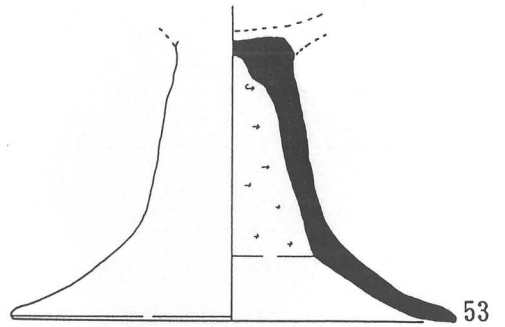
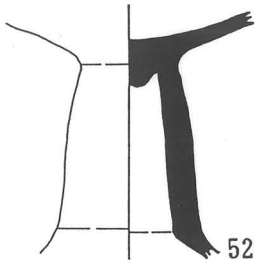
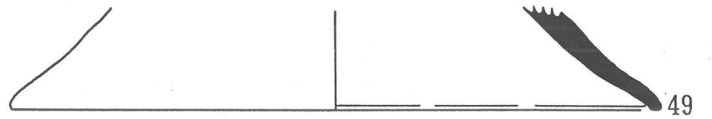
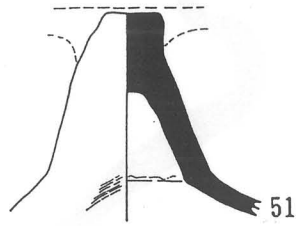
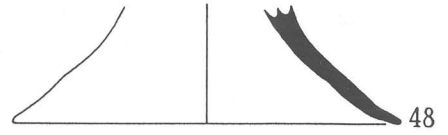
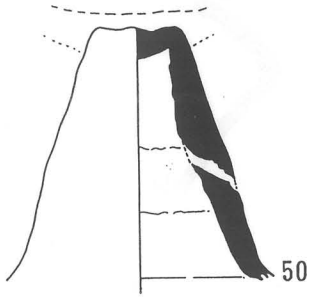
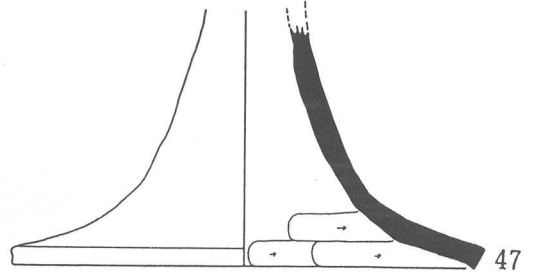
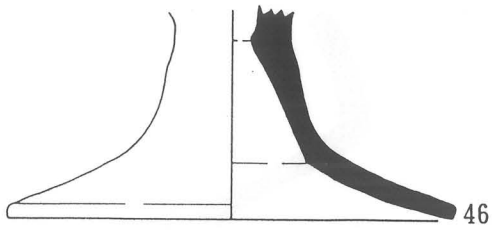
第10図 住居跡下層遺物実測図(3)



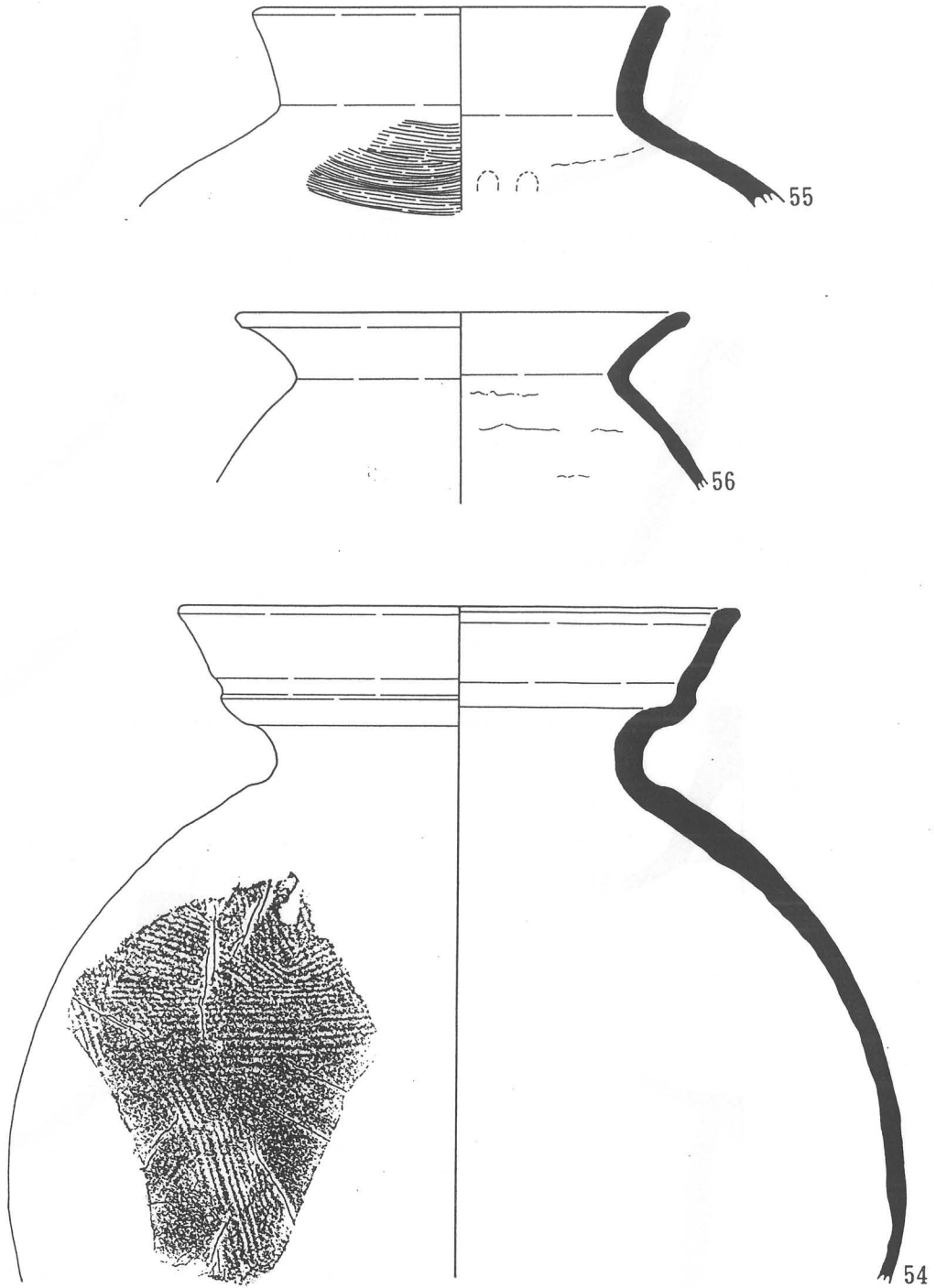
第11図 住居跡下層遺物実測図(4)



第12図 住居跡下層遺物実測図 (5)

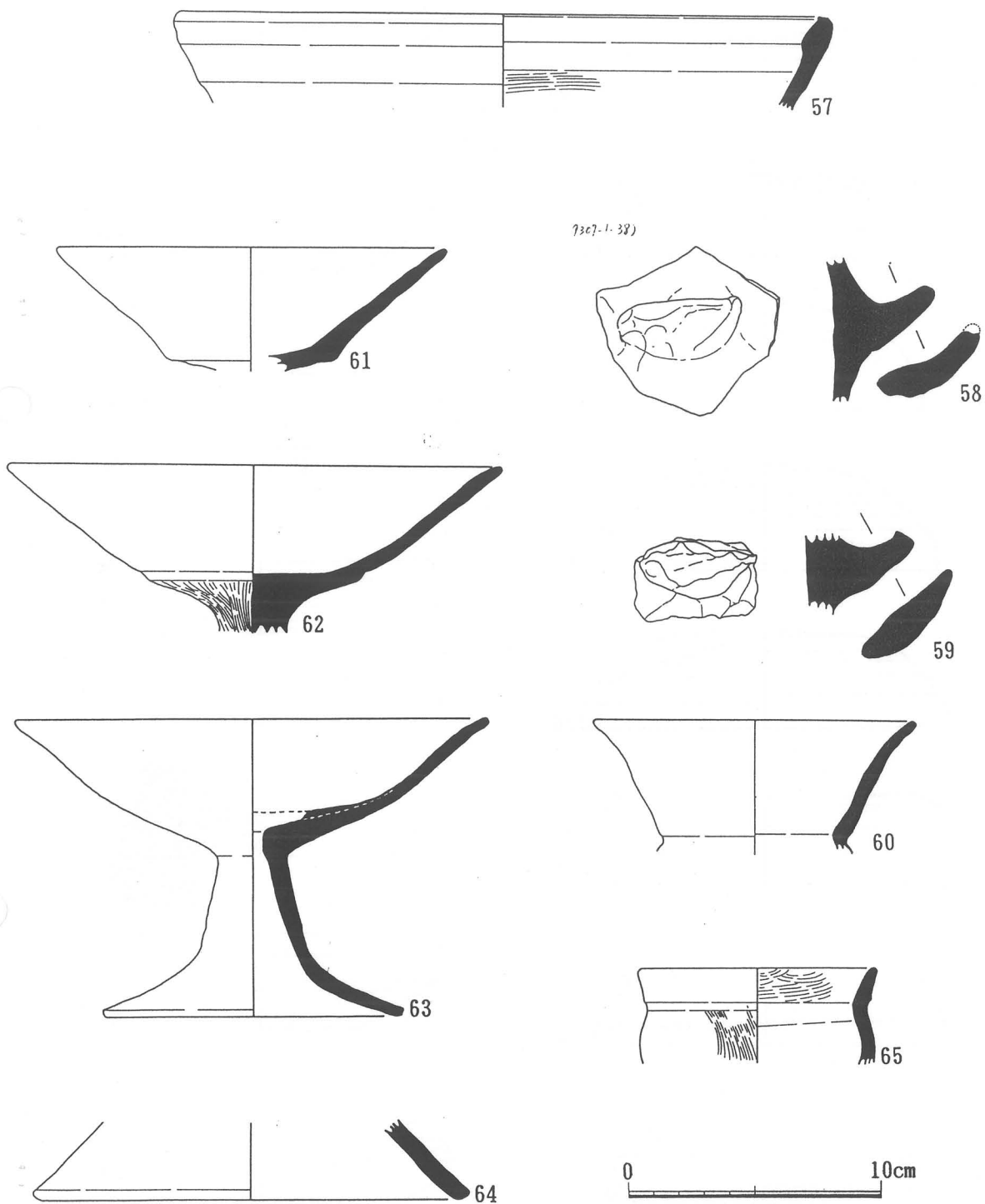


第13图 住居跡下層遺物実測図(6)

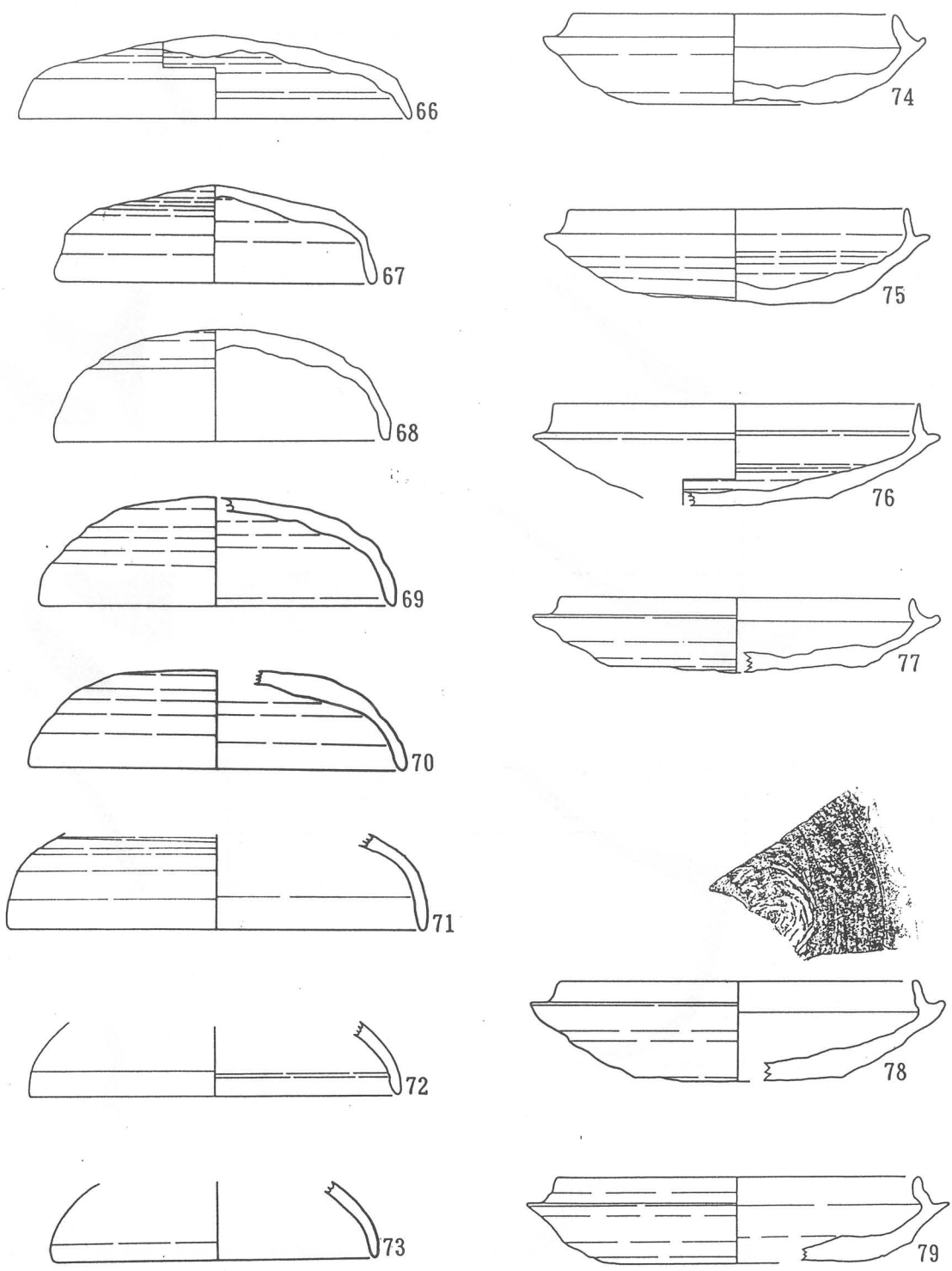


0 10cm

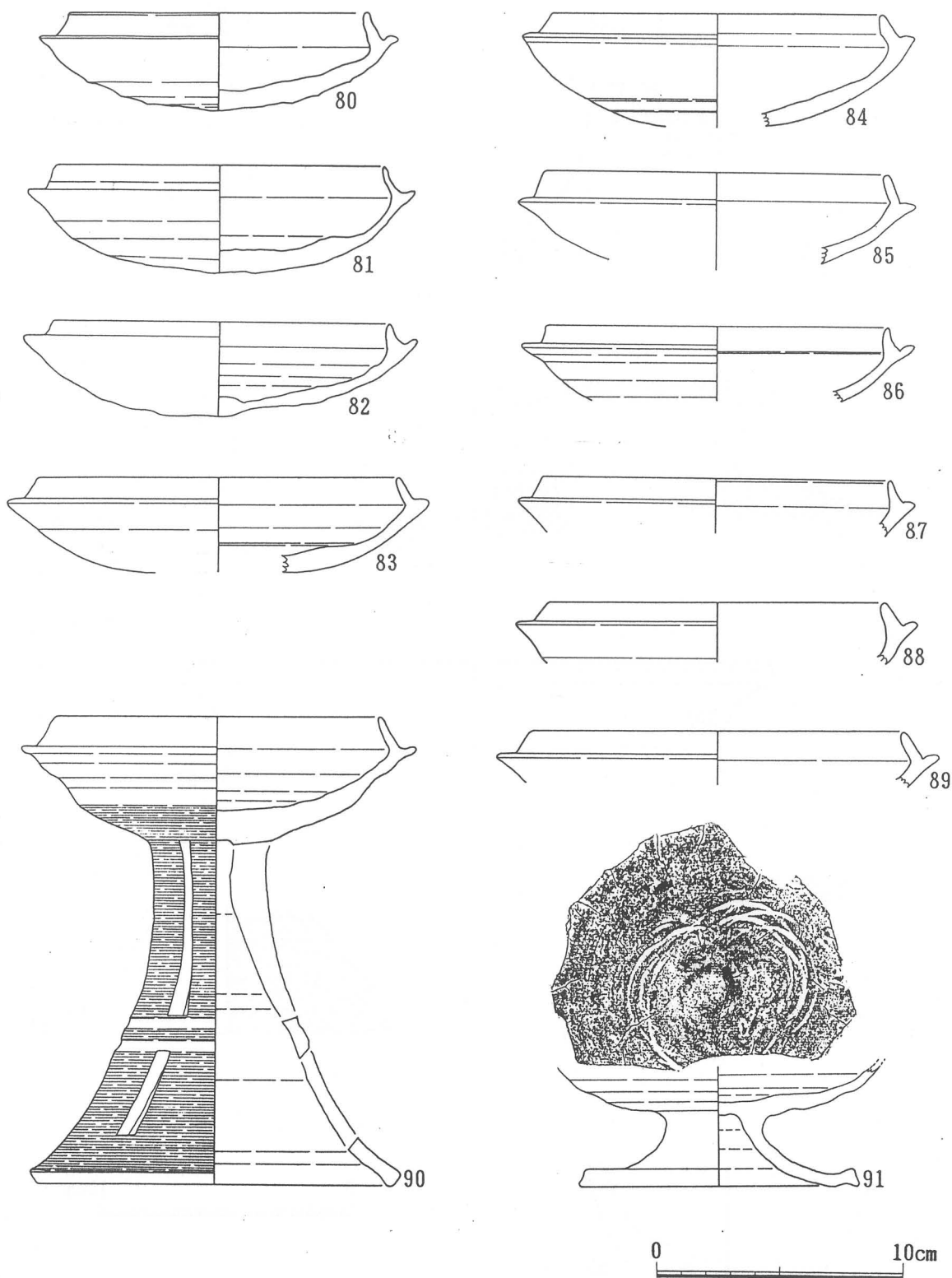
第14図 住居跡上層遺物実測図(1)



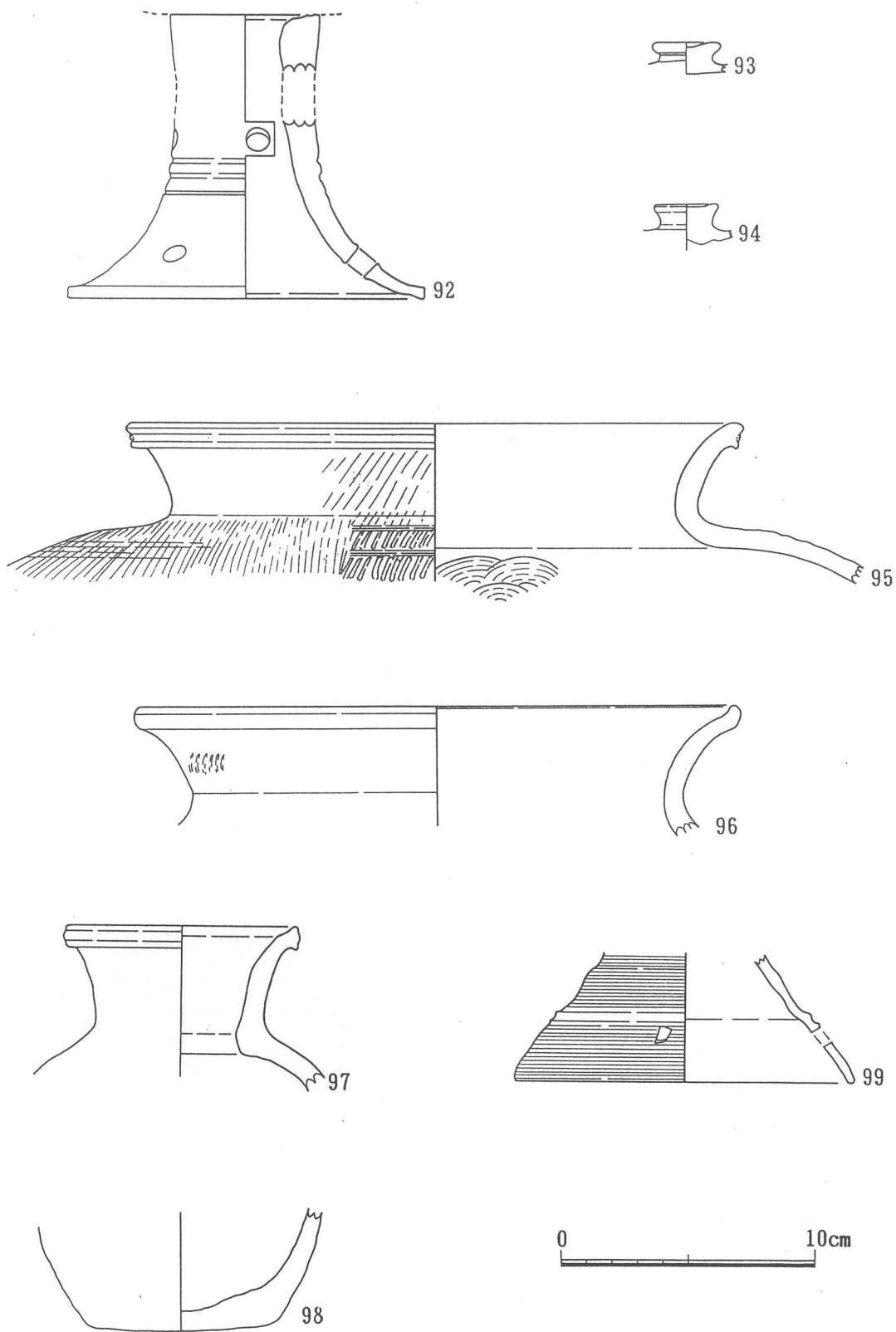
第15図 住居跡上層遺物実測図(2)



第16図 住居跡上層遺物実測図(3)



第17図 住居跡上層遺物実測図(4)



第18図 住居跡上層遺物実測図(5)

表1 遺物観察表

番号	出土場所	器種	法量 cm	調整・焼成	色調	胎土
1	T-2	須恵器 坏(身)	口径 12.4	内面 ヨコナデ 外面 ヨコナデ・ヘラ削り 焼成 良好	灰色 5Y5/1	密
2	〃	須恵器 碗	底径 5.5	内面 ヨコナデ 外面 底部回転糸切り 他はヨコナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	微砂粒を含む
3	〃	瓦質土器 壺	口径 10.0	内外面 ヨコナデ 焼成 良好	暗灰色 N2.5/0	密
4	T-3	須恵器 碗	口径 16.9	内外面 ヨコナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	密
5	〃	〃	底径 6.0	内面 ヨコナデ 外面 底部回転糸切り 他はヨコナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	微砂粒を含む
6	〃	〃	底径 5.0	内面 ヨコナデ 外面 底部回転糸切り 他はヨコナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	密
7	〃	白磁 碗	—	施釉のため不明 焼成 堅緻	灰白色 7.5Y7/2	密
8	T-4	須恵器 坏(身)	口径 14.0	内外面 ヨコナデ 焼成 やや軟	赤灰色 7.5R5/1	微砂粒をわずかに含む
9	〃	須恵器 坏(身)	底径 7.6	内面 ヘラ削り後ナデ 外面 底部ヘラ削り 他はヨコナデ 焼成 やや軟	赤灰色 7.5R5/1	微砂粒をわずかに含む
10	〃	須恵器 碗	底径 5.3	内面 ヨコナデ 外面 底部回転糸切り 他はヨコナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	密
11	〃	〃	底径 6.5	内外面 ヨコナデ 外面 底部回転糸切り 他はヨコナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	白色微砂粒をわずかに含む
12	〃	土師器 壺	口径 12.2	内面 ヘラ削り後ナデ 外面 ヨコナデ 焼成 良好	鈍い橙色 7.5YR7/4	砂粒(0.5~2mm)を多く含む
13	〃	土師器 土塙	口径 27.0	内外面 ヨコナデ 焼成 やや軟	暗褐色 10YR3/3	砂粒及び石英小石粒(1~3mm)を多く含む
14	住居跡下層	土師器 二重口縁甕	口径 16.6	内外面 ヨコナデ 焼成 良好	褐灰色 10YR5/1	砂粒及び小石粒(1~3mm)を含む
15	〃	〃	口径 17.0	口縁部 内外面 ヨコナデ 体部 内面 ヘラ削り 外面 刷毛目 焼成 良好	鈍い黄橙色 10YR7/4	小石粒(2mm)を少量含む
16	〃	〃	口径 19.3	口縁部 内外面 ヨコナデ 体部 内面 ヘラ削り後 ナデ 外面 刷毛目 焼成 良好	浅黄橙色 10YR8/4	砂粒(1mm)を多く含む
17	〃	土師器 甕	口径 13.4	内外面 ヨコナデ 焼成 良好	黄褐色 10YR5/6	細砂及び小石粒(1~3mm)を少量含む

番号	出土場所	器種	法量 cm	調整・焼成	色調	胎土
18	住居跡下層	土師器 甕	□ 径 11.6	内面 刷毛目 外面 ヨコナデ・刷毛目 焼成 良好	鈍い黄橙色 10YR6/3	細砂粒 (0.5 ~ 1mm) を含む
19	〃	〃	□ 径 12.0	内外面 摩耗のため不明 焼成 良好	鈍い橙色 5YR7/3	微砂粒 (0.1 ~ 0.2mm) を含む
20	〃	〃	□ 径 14.2	内面 ヘラ削り後ナデ 外面 摩耗のため不明 焼成 良好	明褐色 7.5YR5/8	砂粒 (0.5 ~ 1mm) を 多く含む
21	〃	〃	□ 径 12.4	内外面 摩耗のため不明 焼成 良好	浅黄橙色 10YR8/4	砂粒 (0.5 ~ 1mm) を 含む
22	〃	〃	□ 径 16.3	内面 摩耗のため不明 外面 ヨコナデ 焼成 良好	鈍い黄橙色 10YR6/3	小石粒 (1 ~ 5mm) を 含む
23	〃	〃	□ 径 14.4	内外面 ナデ 焼成 良好	浅黄橙色 10YR8/3.5	細砂及び小石粒 (1 ~ 2mm) を含む
24	〃	〃	□ 径 15.2	内外面 摩耗のため不明 焼成 良好	浅黄橙色 10YR8/3	細砂及び小石粒 (1 ~ 2mm) を含む
25	〃	〃	□ 径 15.0	内外面 ヨコナデ 焼成 良好	褐灰色 10YR6/1	微砂粒 (0.1 ~ 0.2mm) を含む
26	〃	土師器 台付甕 ※近江系或 は東海系	□ 径 13.2 底 径 7.2 器 高 24.0	□縁部 内外面 ヨコナデ 体 部 内 面 ナデ 外 面 刷毛目 台 部 内 面 ヘラ削り 後ナデ 外 面 刷毛目 指頭圧痕 焼成 良好	灰黄褐色 10YR4/2	小石粒 (1 ~ 2mm) 及 び細砂を多く含む
27	〃	土師器 小 壺	□ 径 7.6 器 高 8.0	□縁部 内外面 ヨコナデ 体 部 内外面 ナデ 粘土積上痕跡顕著 焼成 良好	浅黄褐色 10YR8/4	小石粒 (1 ~ 2mm) を 多く含む
28	〃	〃	□ 径 10.0 器 高 9.0	□縁部 内外面 ヨコナデ 体 部 内 面 ヘラ削り 外 面 ナデ 焼成 良好	橙色 5YR7/8	小石粒 (3 ~ 4mm) を 含む
29	〃	〃	体部径 9.6	□縁部 内外面 ヨコナデ 体 部 内 面 ヘラ削り 外 面 ミガキ 焼成 良好	鈍い橙色 7.5YR6/4	密
30	〃	土師器 高 坏	□ 径 26.2	内面 ヨコナデ 外面 ヨコナデ・ミガキ 焼成 良好	橙色 5YR7/6	微砂粒を多く含む
31	〃	〃	□ 径 24.4	内面 ナデ 外面 摩耗のため不明 焼成 良好	明赤褐色 2.5YR5/8	細砂粒及び小石粒 (1 ~ 3mm) を含む
32	〃	〃	□ 径 28.3	内外面 摩耗のため不明 焼成 良好	浅黄褐色 10YR8/4	細砂粒及び小石粒 (1 ~ 3mm) を含む
33	〃	〃	□ 径 15.6 脚底径 10.0 器 高 13.2	内外面 摩耗のため不明 脚内面 絞り目 焼成 良好	浅黄褐色 10YR8/3	細砂粒及び小石粒 (1 mm) を多く含む
34	〃	〃	□ 径 10.4 底 径 6.6 器 高 7.5	内外面 ナデ 脚内面 指頭圧痕 焼成 良好	橙色 7.5YR7/6	小石粒 (1 ~ 3mm) を 含む

番号	出土場所	器種	法量 cm	調整・焼成	色調	胎土
35	住居跡下層	土師器 高坏	口径 19.0 脚底径 11.7 器高 11.5	内外面 摩耗のため不明 焼成 不良	鈍い黄橙色 10YR6/4	微砂粒を多く含み 白色小石粒 (1~4mm) をわずかに含む
36	〃	〃	口径 19.0	内外面 摩耗のため不明 焼成 良好	橙色 5YR6/8	細砂粒及び小石粒 (1 ~3mm) を含む
37	〃	〃	口径 15.5	内外面 摩耗のため不明 焼成 良好	浅黄橙色 10YR8/4	細砂粒 (0.5~1mm) を含む
38	〃	〃	口径 16.0	内外面 摩耗のため不明 焼成 良好	黄灰色 2.5Y4/1	密
39	〃	〃	口径 16.6	内外面 摩耗のため不明 焼成 良好	黄灰色 2.5Y4/1	小石粒 (1~3mm) を わずかに含む
40	〃	〃	底径 13.6	内面 ヘラ削り 外面 摩耗のため不明 焼成 良好	浅黄橙色 10YR8/3	微砂粒を含む
41	〃	〃	底径 13.3	内面 ヘラ削り 外面 ミガキ 焼成 良好	灰黄褐色 10YR5/2	密
42	〃	〃	底径 11.8	内面 ヘラ削り 外面 摩耗のため不明 焼成 良好	鈍い黄橙色 10YR7/4	細砂及び石英小石粒 (1 ~3mm) を含む
43	〃	〃	底径 11.6	内面 ヘラ削り 外面 ナデ 焼成 良好	明赤褐色 5YR5/8	小石粒 (1~3mm) を 含む
44	〃	〃	底径 11.7	内面 ヘラ削り後ナデ 外面 ナデ 焼成 良好	橙色 5YR6/8	砂粒 (1mm) を含む
45	〃	〃	底径 11.0	内面 ヘラ削り後ナデ 外面 ナデ 焼成 良好	鈍い黄橙色 10YR7/3	砂粒 (1mm) をわずかに 含む
46	〃	〃	底径 15.0	内面 ヘラ削り後ナデ 外面 ナデ 焼成 不良	橙色 5YR6/8	砂粒 (1mm) を含む
47	〃	〃	底径 15.2	内面 ヘラ削り 外面 摩耗のため不明 焼成 良好	浅黄橙色 7.5YR8/6	砂粒 (1mm) を含む
48	〃	〃	底径 12.9	内面 ナデ 外面 摩耗のため不明 焼成 良好	浅黄橙色 7.5YR8/4	密
49	〃	〃	底径 21.7	内外面 ナデ 焼成 良好	鈍い黄橙色 10YR7/3	砂粒 (1mm) を多く含 む
50	〃	〃	-	内面 ヘラ削り (粘土積み 上げ痕残る) 外面 摩耗のため不明 焼成 良好	黄褐色 10YR5/6	砂粒及び小石粒 (0.1 ~3mm) を多く含む
51	〃	〃	-	内面 ナデ・刷毛目 外面 刷毛目 焼成 良好	橙色 7.5YR7/6	小石粒 (2~3mm) を 含む
52	〃	〃	-	内面 ヘラ削り 外面 刷毛目 やや軟	鈍い黄橙色 10YR8/4	小石粒 (2mm) を含む
53	住居跡西柱穴	〃	底径 14.8	内面 ヘラ削り後ナデ 外面 ナデ 焼成 良好	鈍い黄橙色 10YR7/3	小石粒 (1~2mm) を 含む

番号	出土場所	器種	法量 cm	調整・焼成	色調	胎土
54	住居跡上層	土師器 二重口縁 甕	□ 径 20.5	口縁部 内外面 摩滅のため不明 体部 内面 摩滅のため不明 外面 刷毛目 焼成 やや軟	鈍い黄橙色 10YR7/3	白色砂粒 (1~3mm) を含む
55	住居跡上層	土師器 甕	□ 径 15.2	口縁部 内外面 ヨコナデ 体部 内面 ヘラ削り後 ナデ 指頭圧痕 外面 横刷毛目 焼成 良好	黄褐色 10YR5/6	砂粒及び小石粒 (0.1~3mm) を多く含む
56	〃	〃	□ 径 16.0	口縁部 内外面 ヨコナデ 体部 内面 ナデ 粘土継目痕 外面 ヨコナデ 焼成 良好	鈍い黄橙色 10YR6/3	砂粒 (1mm) を多く含む
57	〃	〃	□ 径 26.0	内外面 ナデ 焼成 良好	橙色 7.5YR6/6	微砂粒を含む
58	〃	土師器 把手 (甕)	—	内面 摩耗のため不明 外面 ナデ 焼成 良好	橙色 7.5YR6/6	密 (精良)
59	〃	〃	—	内面 摩耗のため不明 外面 ナデ 焼成 良好	橙色 5YR7/8	微砂粒を含む
60	〃	土師器 壺	□ 径 13.0	内外面 ナデ 焼成 不良	鈍い黄橙色 10YR6/4	微砂粒を多く含み白色砂粒 (1~4mm) を少量含む
61	〃	土師器 高 坏	□ 径 15.8	内面 ヨコナデ 外面 ヘラ磨き 焼成 やや軟	橙色 7.5YR7/6	白色微砂粒を含む
62	〃	〃	□ 径 19.8	内面 刷毛目 外面 ヨコナデ・刷毛目 焼成 良好	明黄褐色 10YR7/6	砂粒及び小石粒 (0.1~5mm) を含む
63	〃	〃	□ 径 19.0 底 径 12.0 器 高 12.0	内面 摩耗著しく調整不明 外面 ヘラ削り 焼成 良好	明赤褐色 2.5YR5/8	砂粒 (1~2mm) をわずかに含む
64	〃	〃	底 径 17.4	内外面 ナデ 焼成 良好	明赤褐色 5YR5/8	砂粒 (1~3mm) を含む
65	〃	土師器 小 壺	□ 径 9.5	口縁部 内面 刷毛目 外面 ヨコナデ 体部 内面 ヘラ削り 外面 刷毛目 焼成 良好	橙色 5YR6/8	微砂粒を含む
66	〃	須恵器 坏 (蓋)	□ 径 15.0 器 高 3.3	内面 ヨコナデ 外面 回転ナデ 焼成 不良	内面 鈍い橙色 7.5YR7/3.5 外面 鈍い橙色 7.5YR6/4	密
67	〃	〃	□ 径 12.4 器 高 3.8	内面 回転ナデ 外面 天井部回転ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 良好	灰色 5Y5/1	密
68	〃	〃	□ 径 12.4 器 高 4.3	内面 ヨコナデ 外面 天井部回転ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	密

番号	出土場所	器種	法量 cm	調整・焼成	色調	胎土
69	住居跡上層	須恵器 坏(蓋)	□ 径 12.4 器 高 4.3	内面 ヨコナデ 外面 天井部回転ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 不良	鈍い黄橙色 10YR6.5/4	密
70	"	"	□ 径 14.6 器 高 3.9	内面 ヨコナデ 外面 天井部回転ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 不良	灰黄色 2.5Y6/2	密
71	"	"	□ 径 15.8	内外面 ヨコナデ 焼成 良好	灰色 5Y5/1	密
72	"	"	□ 径 14.0	内外面 ヨコナデ 焼成 良好	明青灰色 5B7/1	密
73	"	"	□ 径 12.5	内外面 ヨコナデ 焼成 不良	灰黄色 2.5Y6/2	密
74	"	須恵器 坏(身)	□ 径 12.4 受部径 14.8 器 高 3.6	内面 回転ナデ 外面 底部ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 良好	灰白色 N6.5/0	微砂粒をわずかに含む
75	"	"	□ 径 13.1 受部径 15.0 器 高 3.5	内面 回転ナデ 外面 底部ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 良好	灰白色 N6.5/0	黒、白色の砂粒(1~3mm)を含む
76	"	"	□ 径 14.1 受部径 15.7 器 高 4.0	内面 回転ナデ 外面 底部ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 良好	灰白色 5Y6.5/1	白色微砂粒を含む
77	"	"	□ 径 13.5 受部径 15.7 器 高 3.0	内面 ヨコナデ 底部に指頭圧痕 外面 底部ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 良好	灰白色 5Y6.5/1	密
78	"	"	□ 径 13.7 受部径 16.0 器 高 3.9	内面 ヨコナデ 底部に同心円クタクキ 外面 底部ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 やや不良	内面 赤褐色 10R5/3 外面 鈍い橙色 2.5YR7/6	微砂粒をわずかに含む
79	"	"	□ 径 14.0 受部径 16.3 器 高 3.3	内面 ヨコナデ 外面 底部ヘラ削り 他はヨコナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	砂粒(0.5mm)を少量含む
80	"	"	□ 径 12.2 受部径 14.6 器 高 4.0	内面 回転ナデ 外面 底部ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 良好	内面 褐灰色 7.5YR4/1 外面 紫灰色 5RP5/1	密
81	"	"	□ 径 13.3 受部径 15.7 器 高 4.4	内面 回転ナデ 外面 底部ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 不良	灰白色 N6.5/0	黒、白色の砂粒(1~3mm)を含む
82	"	"	□ 径 13.6 受部径 16.0 器 高 3.8	内外面 摩滅ため不明 焼成 不良	鈍い橙色 7.5YR7/4	白色砂粒(1~2mm)を含む
83	"	"	□ 径 14.6 受部径 17.0	内面 回転ナデ 外面 底部ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 良好	灰白色 N8/0 外面に自然釉がかかる	密

番号	出土場所	器種	法量 cm	調整・焼成	色調	胎土
84	住居跡上層	須恵器 坏(身)	□ 径 13.7 受部径 16.0	内面 回転ナデ 外面 底部ヘラ削り 他は回転ナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	小石粒(2~3mm)を 含む
85	〃	〃	□ 径 13.8 受部径 16.0	内外面 回転ナデ 焼成 良好 焼歪が見られる	灰色 N6.5/0	密
86	〃	〃	□ 径 13.7 受部径 15.8	内外面 回転ナデ 焼成 良好	灰色 5Y6/1	密
87	〃	〃	□ 径 14.0 受部径 16.0	内外面 回転ナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	密
88	〃	〃	□ 径 14.0 受部径 15.8	内外面 回転ナデ 焼成 良好	灰色 N6.5/0	密
89	〃	〃	□ 径 15.0 受部径 17.8	内外面 回転ナデ 焼成 良好	灰色 5Y6/1	密
90	〃	須恵器 有蓋高坏	□ 径 13.1 受部径 16.0 器高 19.0 脚底径 14.2	坏部 内面 回転ナデ 外面 回転ナデ 底部部カキ目 脚部 内面 不明 外面 カキ目 焼成 堅緻	内面 灰白色 N7/0 外面 暗灰色 N3/0	白色小石粒(2~3mm) を含む
91	〃	須恵器 高坏	脚底径 11.4	坏部 内面 回転ナデ 同心円タタキ 外面 回転ナデ 脚部 内面 不明 外面 回転ナデ 焼成 堅緻	灰白色 N6.5/0	白色砂粒(1~2mm) を含む
92	〃	須恵器 高坏 (脚部)	脚底径 14.4	内外面 回転ナデ 焼成 やや軟	褐灰色 7.5Y6/1	砂粒(1~3mm)をわ ずかに含む
93	〃	須恵器 高坏 (つまみ)	径 2.7	内外面 ヨコナデ 焼成 良好	灰白色 N7/0	白色微砂粒を含む
94	〃	〃	径 2.5	内外面 ヨコナデ 焼成 良好	赤灰色 10R6/1	密
95	〃	須恵器 甕	□ 径 24.8	□縁部 内外面 ヨコナデ 体部 内面 同心円タタキ 外面 平行タタキ 後カキ目 焼成 堅緻	灰白色 N7/0 自然釉が分かる	密
96	〃	〃	□ 径 24.2	内面 ヨコナデ 外面 タタキ後ヨコナデ 焼成 やや軟	灰白色 5Y7/1	砂粒(0.5~1mm)を わずかに含む
97	〃	須恵器 壺	□ 径 9.0	□縁部 内外面 回転ナデ 体部 内面 回転ナデ 外面 タタキ後ヨ コナデ 焼成 堅緻	灰色 N6/0	微砂粒をわずかに含む
98	〃	〃	底径 7.6	内面 自然釉のため不明 外面 回転ナデ 焼成 良好	灰色 5Y6/1	密
99	〃	須恵器 台付壺 (脚部)	脚底径 13.4	内面 ヨコナデ 外面 カキ目 焼成 良好	内面 灰色 N5/0 外面 灰色 N6/0	密

※ 番号は遺物実測図と一致する。色調は日本色研事業株式会社発行『新版 標準土色帖 1992年版』による。

9 まとめ

今回の確認調査で、古墳時代中期から中世にかけての遺跡が存在することが明らかになった。平方遺跡並びに松田山古墳、前山、丹生山両古墳群との関連から南柳遺跡の発見の意味は大きいものである。

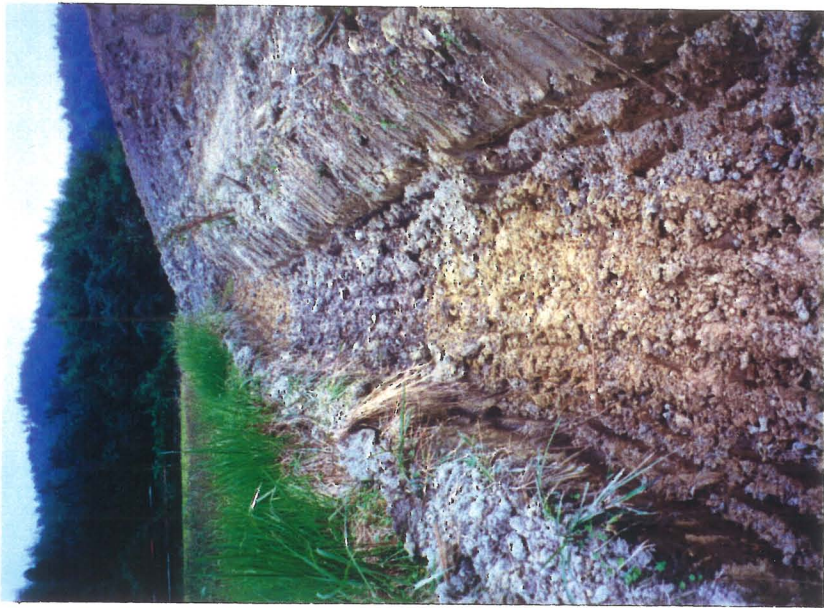
遺跡の広がりについては、限られた範囲の調査のため不明であるが、東端に設定した第5トレンチでの土層の観察から東への広がりは想定しずらく、西及び北方に広がるものと考えられる。また、第1トレンチで検出された住居跡から出土した甕の一つには、近江系或は東海系と考えられるプローションを持つものが含まれる事が特筆される。

今後の周辺部の調査に持たれる期待は大きいものである。

当遺跡は、今回の調査地の字名をとって南柳遺跡と呼称することにした。



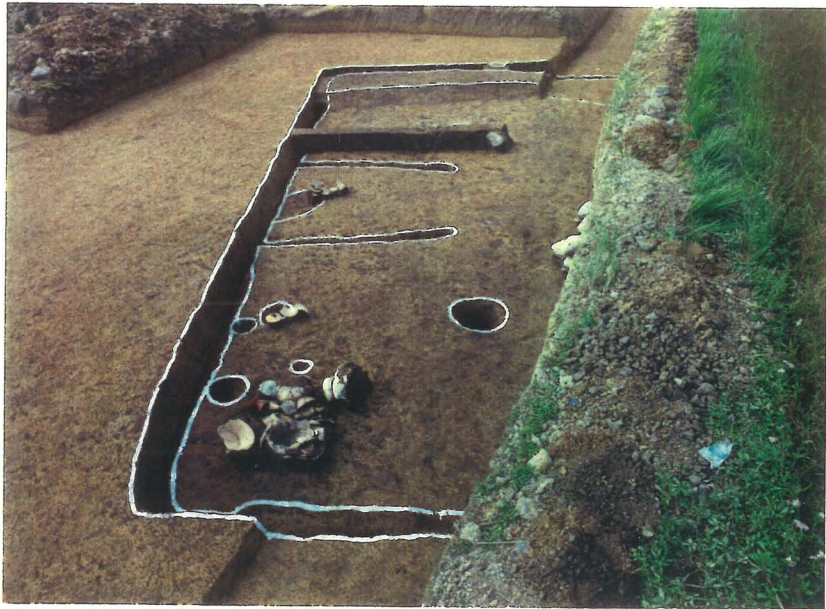
調査地遠望（西から）



遺跡発見状況（西から）



トレンチ1 竪穴住居跡（西南から）



トレンチ1 竪穴住居跡（東から）



豎穴住居跡床面南東部土器出土状況（西から）



豎穴住居跡床面南中央部土器出土状況（北から）



トレンチ2 (北から)



トレンチ3 (北から)



トレンチ4 (北から)



トレンチ5 (南から)



地元龍田小学校生への現地説明会風景



調査地区航空写真

